

令和4年度学校関係者評価結果に対する今後の取組

標記について、自立支援局運営方針及び令和4年度組織目標に則して、今年度は以下について重点的に取り組めます。

1. あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師国家試験合格に向けた取組

あはき師国家試験合格率の維持・向上は、国立障害者リハビリテーションセンター第3期中期目標の一つであり、今年度も引き続き運営方針及び組織目標に従い、利用者の学力と実技力の向上に努めます。

具体的には、令和3年度の夏季休業期間より再開した長期休業期間中の支援を実施し、座学だけでなく実技・臨床も支援内容に加え、実技力向上を図ります。また、早期から受験対策も視野に入れ、対象者を全学年とし、意識醸成に取り組めます。

10月以降は本格的な受験対策を実施し、受験生全体のニーズを把握しつつ、個別支援も交え、現役受験生全員の国家試験合格を目指します。

2. 就労に向けた取組

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年度以降、利用者への就労に向けた取組には多大な影響がありました。例年であれば、1年次から段階的に職場見学を計画していたものが、2年続けて自粛・中止となり、これまで同様の就労支援が制限される状況が続きました。

今年度は自粛・中止となった計画内容も含め、年度当初からの実施に向け、進路支援講座、職場見学、企業説明会等を計画し、就労の実際を学習、体験できる場を最大限、提供できるよう就労支援に取り組めます。

3. 新型コロナウイルス感染防止対策としての卒後支援の新たな取組

新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、令和3年度の卒後研修会はオンデマンド配信による開催を実施しました。

今年度はオンデマンド配信に加えて、オンライン開催も実施し、コロナ禍の影響が最小限に留められるよう、新たな後支援のあり方を模索しながら、今年度も卒後支援に取り組めます。

以上